

冬

の災害に備える



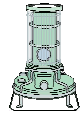
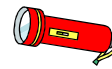
帯広市は積雪寒冷地であり、真冬には -20°C を下回ることもあります。

冬に地震などの災害が起こる場合に備え、夏とは違った防災対策を行う必要があります。
みなさんのご家庭でも、冬の災害への備えをはじめましょう。

1. 冬の地震に備えて

災害時の停電に備えて、食料、飲料水、防寒具、使い捨てカイロなどの非常持ち出し品のほか、ポータブルストーブや灯油などの暖房器具を準備しておきましょう。

冬に準備しておきたい非常持ち出し品リスト



- | | | |
|---|--------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 防寒具（帽子、手袋、ジャンパー、スキウェアなど） | <input type="checkbox"/> 食料、飲料水 | <input type="checkbox"/> 救急袋 |
| <input type="checkbox"/> 衣類（厚手の長袖、長ズボン、厚手の靴下など） | <input type="checkbox"/> 携帯用ラジオ | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 毛布 | <input type="checkbox"/> 防寒シート（アルミ） | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> カイロ | <input type="checkbox"/> ヘルメット（防災頭巾） | <input type="checkbox"/> 常備薬、持病薬 |
| | | <input type="checkbox"/> 現金、貴重品など |

2. 暴風雪に備えて

冬は天候が急変することがありますので、テレビやラジオなどで防災情報を得るとともに、暴風雪が予想されるときは外出を控えましょう。

やむを得ず車で外出するときには



- ・防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に準備しましょう。
- ・車に燃料が十分あることを確認しましょう。
- ・運転していて危険を感じたら、無理をせずに、ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなどで天候の回復を待ちましょう。

もしも吹雪で車が動けなくなったら

避難できる場所や救助を求められる人家がない場合は、消防（119番）や警察（110番）に連絡するとともに、マフラーが雪に埋まらないように定期的に除雪し、窓を少し開けて換気を行うなどして、車の中で救助に備えてください。

帯広市危機対策課（市役所5階） 電話 65-4103